



新板
繪入

仔細物語

下



六
いづれか

浮世物語下

渡邊浮世

浮世物語 下

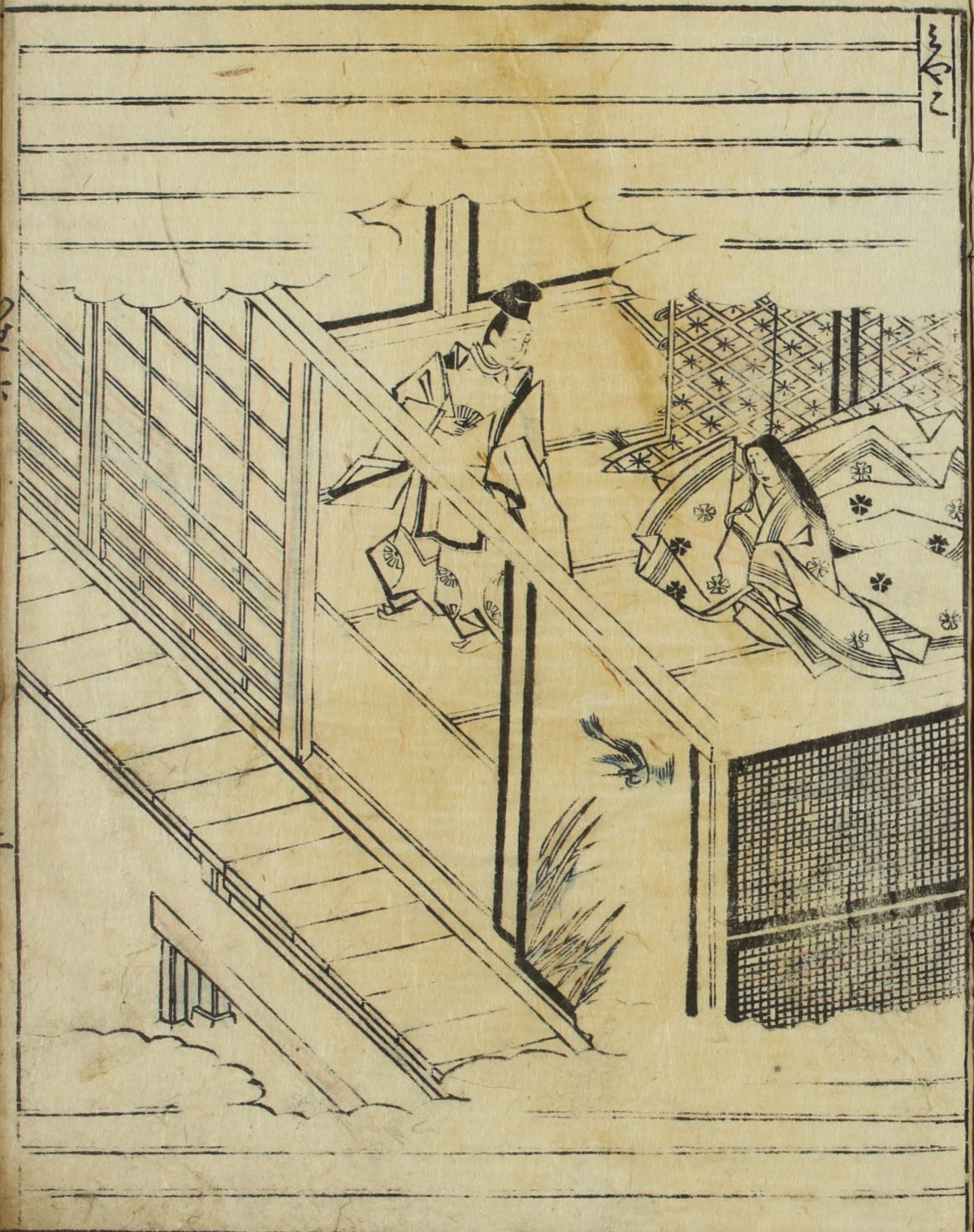
十四
ひらき男葉子のうらみのせとけりしけりしとて
うらみのせとけりしとてけりしとてけりしとて

十五
初めはあつたけりしとてけりしとてけりしとて
あつたけりしとてけりしとてけりしとて

又
あつたけりしとてけりしとてけりしとて
あつたけりしとてけりしとてけりしとて

ひしおのこころのせむしはあはれなり
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる

若男あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる
あはれなる秋の夜はあはれなる



とく

Handwritten notes at the top of the right page, including the number '10' and some illegible characters.

十

Main handwritten text on the right page, written in a cursive style. It contains several lines of text with some red markings and annotations.

十一

三十六

Main handwritten text on the left page, continuing the cursive style from the right page. It includes various lines of text with some red markings.

ありあけのまゝとてあはれうしてあはれまじりしはらわれ
しはあけのまゝとてあはれうしてあはれまじりしはらわれ
ひらりひらりあはれまじりしはらわれ

あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ

あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ

六六

あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ

六六

あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ

六六

あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ

六六

あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ
あはれまじりしはらわれ

六六

のらんかふいふれいぬきぬえらうしあまえ
 とらぬすあなかりしものあつらふりし^{たひまの}
 びんこししてはれとあかつこいけく

かつこのあはのせれをあらん^{男千水ヲ}
 といぬきおりのれあをあらん^{女千水ヲ}のえりし
 又ほをいふしゆひとあまきぬのいし^{惟子内親王}

若男うらのけうひ^{若男}なりさけり^女あはれ^男のまら
 といぬき^女おりのれあ^男をあらん^女のいし^男ひ^女なる

若男うらのけうひ^{若男}なりさけり^女あはれ^男のまら
 といぬき^女おりのれあ^男をあらん^女のいし^男ひ^女なる

若男うらのけうひ^{若男}なりさけり^女あはれ^男のまら
 といぬき^女おりのれあ^男をあらん^女のいし^男ひ^女なる

若男うらのけうひ^{若男}なりさけり^女あはれ^男のまら
 といぬき^女おりのれあ^男をあらん^女のいし^男ひ^女なる

若男うらのけうひ^{若男}なりさけり^女あはれ^男のまら
 といぬき^女おりのれあ^男をあらん^女のいし^男ひ^女なる



系乃すら

ていふがまゝのついでにせんといふありたり

性書 又藤才三母従五位上 紀靜子 名虎 亥丑 号 小野宮

考あるまゝのついでにせんといふありたり
に於ては、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
は、そのついでにせんといふありたり
人乃名をなすにたりたりは、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
に於ては、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり

世の中は、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり

ちよとていふがまゝのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
そのついでにせんといふありたり
のついでにせんといふありたり
は、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
に於ては、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり

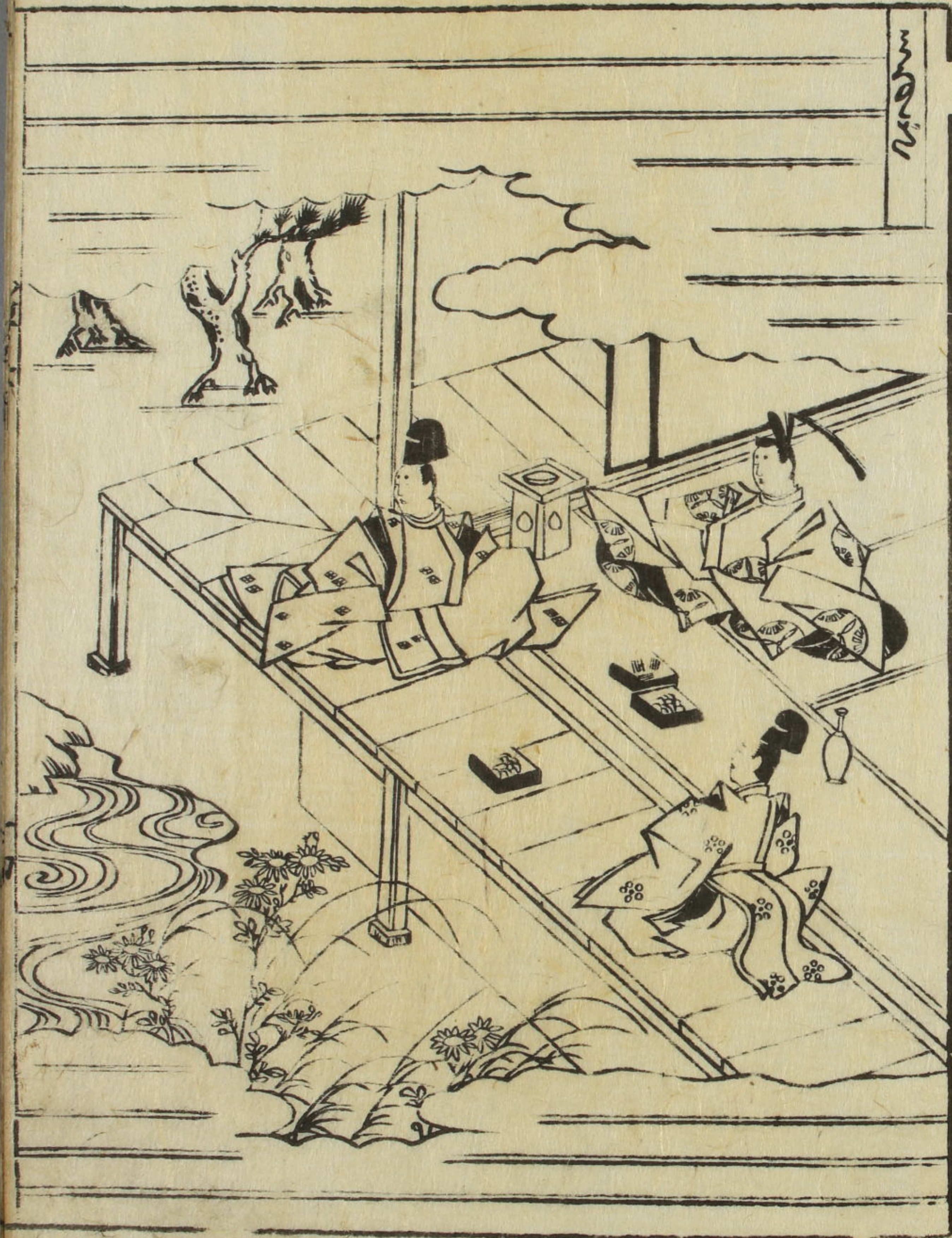
ついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
そのついでにせんといふありたり
のついでにせんといふありたり
は、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
に於ては、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり

ついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
そのついでにせんといふありたり
のついでにせんといふありたり
は、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
に於ては、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり

ついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
そのついでにせんといふありたり
のついでにせんといふありたり
は、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり
に於ては、そのついでにせんといふありたり
まゝのついでにせんといふありたり

〇してわしをひしめておのほくつをうせつううのりなりとて
 乃加^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 山^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 まうせおつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 ちえくおつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 ておつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 志^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 せうん^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野

善男^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 〇してわしをひしめておのほくつをうせつううのりなりとて
 乃加^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 山^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 まうせおつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 ちえくおつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 ておつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 志^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野
 せうん^{貞観十四年七月}のちあつちのちからりび月よおつちなしくんしてお野



〇してわしをひしめておのほくつをうせつううのりなりとて

いふにけつそこのこととわがみうらなふんさかひのいふに
 るに男のまをさけつていふにまをさけたりまをさけしけ
 たわがしるにいふに男のいふにまをさけしとまをさけし
 乃あのはるまをさけしわがしるにまをさけしとまをさけし
 布羽のまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 いふにまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 とまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 たのいふにまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 あなせうまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 みまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

我世にまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 わがしるにまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

おんまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 いふにまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 誰かまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 我乃まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 大おんまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ところまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ありまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 りまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 つまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ありまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ありまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ありまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ありまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ありまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

まをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし
 ありまをさけしとまをさけしとまをさけしとまをさけし

廿五 廿五 廿五

とみんありのつら女也
 ちの秋神の乃喜のじつあみらと親とこのかえり
 若二条の若は流つちやうの男とさりの女の流うまうと
 神は見えりしとあひまらりなりとておしひかへんて
 おのつとくちひつめさるるすうちらうとてひかれ
 女とあひひくおしひかへりおしひかへりおしひかへり
 ひい早の若は流つちやうの男とさりの女の流うまうと
 こらうの若は流つちやうの男とさりの女の流うまうと
 若男とさりの女とさりの男とさりの女とさりの男と
 ちの秋神の乃喜のじつあみらと親とこのかえり
 若二条の若は流つちやうの男とさりの女の流うまうと
 神は見えりしとあひまらりなりとておしひかへんて
 おのつとくちひつめさるるすうちらうとてひかれ
 女とあひひくおしひかへりおしひかへりおしひかへり
 ひい早の若は流つちやうの男とさりの女の流うまうと
 こらうの若は流つちやうの男とさりの女の流うまうと
 若男とさりの女とさりの男とさりの女とさりの男と



布の乃喜

てつりあひはるのとなん

若男ぐくつらぬかーとつひをりそのなれぬ

あゝあはけらぬもあんはむとてあはぬくつらぬわじと

とつりなれぬとつらぬとつらぬれぬかーはりまらり

若男見回親はらぬせうはじのあはぬまらてつらぬ川乃もわく

らつらつれぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

若男若年はらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

らつらつれぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

わんとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

つらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

つらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

つらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

つらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

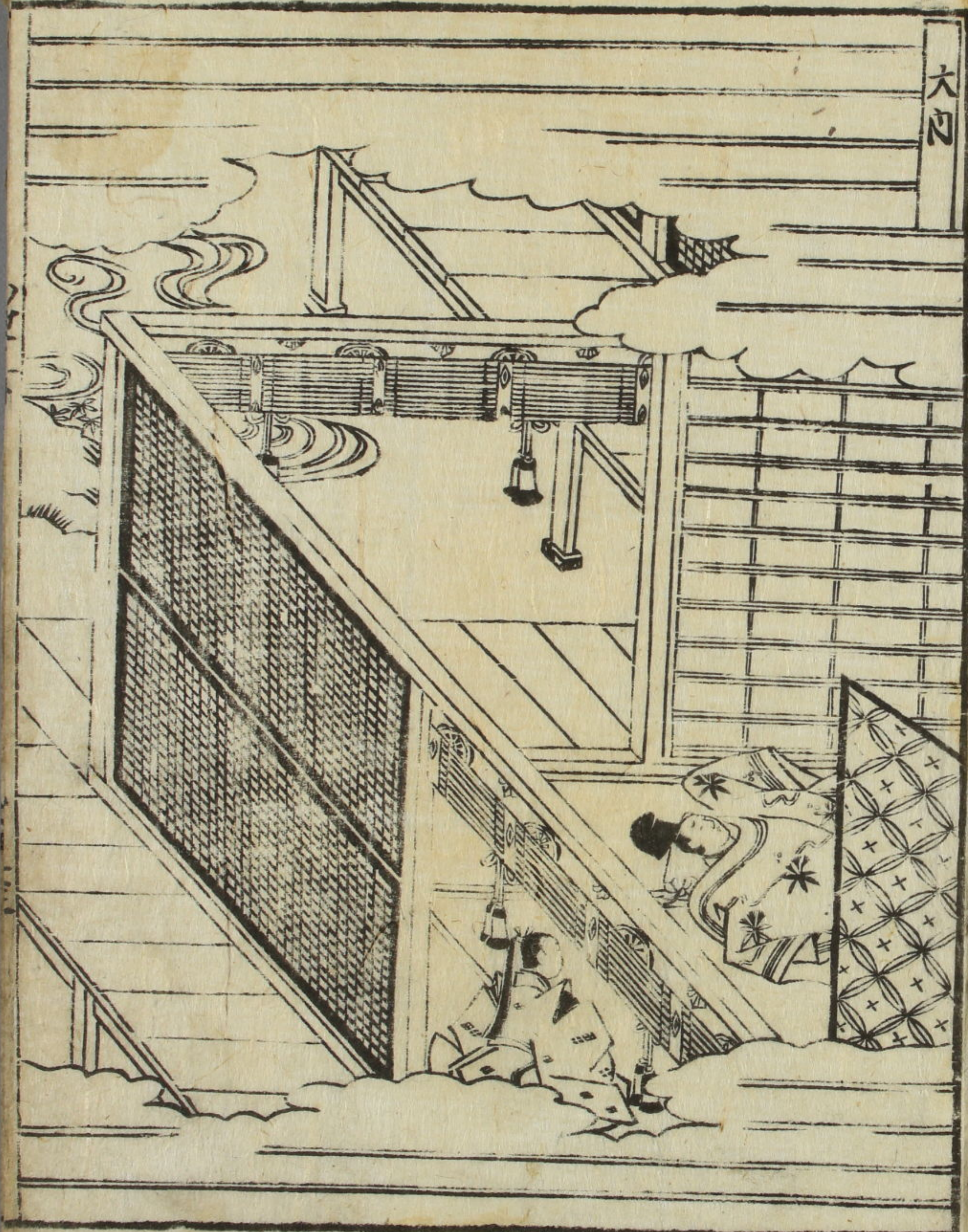
つらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

つらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬとつらぬ

大内



又新とありしやうりも御乃るそんとくされまてさ
 なる男御人ふよひしらるるのりく女のにあまの御心
 すまの御心の後ゆくまの風とてさるるはさひたはの
 せうとたにさるるあまの心くさるる
 ろうらぬ命れをいひさるるまのりくさるる
 善に和乃み せのりくは仕事さあひさるる時今あつた
 くさひたれしりさるるあれはあやうのたあひさ
 てさるるさあひさるるさるるさるる
 善（宗徳は名）に命れをいひさるるさるるさるる
 おのれけの御心とてさるるさるるさるるさるる
 くれとらうらぬいさるるさるるさるる
 青みしの圓とて田かすさるるさるるさるる
 けさうらぬさるるさるるさるるさるる
 てさるるさるるさるるさるるさるる
 おのれけの御心とてさるるさるるさるるさるる
 善（宗徳は名）に命れをいひさるるさるるさるる
 おのれけの御心とてさるるさるるさるるさるる



大内

彼ららのありあけの徳の深しき事なるをいふは
さあつりしむらひのさうりけりとのらんひのいなる

ひく所門のいひくはひのいひなる
然るにさうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

さうりけりとのらんひのいなる
さうりけりとのらんひのいなる

下巻終

近代以將使更為獨之本出來未代之人今亦已
更不可用此物詔古人之說不同或云在中將之自
書或稱作野卷作就彼此有書落更等上古之人
強不尋其作者只可說詞花言葉而已 在判
者書本名為定家卿自筆 林宗表御本已隨
有海中出為能體本不遠一字一息令透寫遂并校
龍雖然魯魚之誤猶難道也于時長銀第ニ磨
仲陽初三條記之

大坂心成橋筋順慶所

拍原屋與市

度之
拍原屋

大坂心成橋筋順慶町

與市
作書

